

平成 20 年 10 月 23 日

東洋エンジニアリング株式会社

西アフリカ・アンゴラ向け洋上原油処理設備設計業務を受注 ～3 基目の FPSO 実績で Upstream 分野への展開に拍車～

東洋エンジニアリング株式会社（TEC、取締役社長 山田 豊）は、三井海洋開発株式会社（MODEC、取締役社長 山田健司）系列のシンガポール法人 MODEC Offshore Production Systems (Singapore)社より、浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備（FPSO）に搭載する船上処理設備の詳細設計業務をこのたび受注いたしました。

本 FPSO は英 BP Exploration (Angola) Ltd.向けに納入されるもので、BP 社が鉱区権を所有する西アフリカ・アンゴラ沖 Block31 鉱区の海洋油田開発に利用される予定です。

三井海洋開発株式会社は FPSO 分野の実績で豪州、東南アジアにおいて圧倒的なシェアを誇り、最近ではブラジルや西アフリカでのシェアを拡大するなど世界トップクラスのコントラクターです。

同社とのアライアンス(協業提携)による FPSO 受注は今回で 3 件目。TEC は、資源開発や FPSO といった Upstream 分野の強化に取り組んでいます。今後も同社との協力関係をますます強化し、FPSO 分野の受注拡大を目指していきます。

<受注概要>

- 客先 MODEC Offshore Production Systems (Singapore) Pte. Ltd.
 (三井海洋開発株式会社系 シンガポール法人)
- 対象設備 浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備（Floating Production Storage and
 Offloading; FPSO）に関わる日量 15.7 万バレルの石油生産能力を持つ船上処理設備
- 係留地 アンゴラ沖、Block 31 鉱区北東部、Plutão, Saturno, Vênus and Marte (“PSVM”)油田
- FPSO 納入先 BP Exploration (Angola) Ltd.（オペレーター）
- 役務内容 詳細設計業務
- 生産開始予定 2011 年

<お問合せ先> 東洋エンジニアリング株式会社 広報室・川腰 TEL:047-454-1113